

平成22年度 水質検査結果 報告

平成22年度も、上水道と7つの簡易水道全てで、総合的に安全性が確認されています。

科学的・合理的な水質検査

水道水の検査は、皆様に毎日安心してご利用いただくため、科学的・合理的なものでなくてはなりません。このため水道局では、全ての水質検査について検査地点、検査項目、検査頻度、検査方法を詳細に示し、皆様からご意見を募集したうえで策定・公表した「水質検査計画」に従い、検査を実施しています。

水質基準に完全適合

水道水が必ず適合しなければならない「水質基準項目(50項目)」は、人が水道水を一生飲み続けても安全であるように、最新の科学的知見を基に、国がゆとりを持って決めています。検査の結果、検査をした全地点(右図)の水道水について、例年どおり全項目が基準に適合していました。

上水道給水栓での平成22年度の検査結果(水質基準項目)

項目	基準値	針木浄水場系(瀬戸東町3丁目)	旭浄水場系(宝町)	春野森山水源系(内の谷)	春野弘岡上水源系(芳原)	備考	
一般細菌	100個/mL以下	0	0	0	0	病原生物指標	
大腸菌	検出されないと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	無機物質・重金属	
水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000		
セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000		
鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	0.000	0.000	0.001	0.001		
ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000		
六価クロム化合物	0.05mg/L以下	0.000	0.001	0.001	0.000		
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000		
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.29	0.34	2.0	0.71		
フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.04	0.04	0.06	0.05		
ホウ素及びその化合物	1mg/L以下	0.0	0.0	0.0	0.0		
四塩化炭素	0.002mg/L以下	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	一般有機化学物質	
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000		
2,2,4,4-テトラヒドロクマリン	0.04mg/L以下	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
ベンゼン	0.01mg/L以下	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
塩化酸	0.6mg/L以下	0.02	0.01	0.06	0.02		
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000		
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.0011	0.0013	0.0001	0.0001		
ジクロロ酢酸	0.04mg/L以下	0.000	0.001	0.000	0.000		
ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	0.0015	0.0016	0.0007	0.0004		
臭素酸	0.01mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000	消毒副生成物	
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.0047	0.0049	0.0031	0.0009		
トリクロロ酢酸	0.2mg/L以下	0.000	0.001	0.000	0.000		
ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.0017	0.0017	0.0001	0.0002		
ブロモホルム	0.09mg/L以下	0.0003	0.0004	0.0022	0.0003		
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000		
亜鉛及びその化合物	1mg/L以下	0.001	0.002	0.006	0.005		色
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.027	0.036	0.000	0.000		
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	0.00	0.01	0.00	0.00		
銅及びその化合物	1mg/L以下	0.001	0.002	0.019	0.027		
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	3.2	3.7	10.4	4.0		
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000		
塩化物イオン	200mg/L以下	3.3	3.4	13.8	3.1		
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	38	37	67	42		
蒸発残留物	500mg/L以下	58	60	124	70		
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	0.00	0.00	0.00	0.00		
ジエオキシシン	0.00001mg/L以下	0.000000	0.000001	0.000000	0.000000	におい	
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000		
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	0.000	0.000	0.000	0.000		
フェノール類	0.005mg/L以下	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000		
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	0.19	0.20	0.11	0.10		
pH値	5.8以上8.6以下	7.4	7.6	6.9	7.1		
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		
色度	5度以下	0	0	0	0		
濁度	2度以下	0.01	0.01	0.01	0.01		



高知の水道水は安全安心

安全に関する目標値を全て達成

将来にわたり水道水の安全を確保するために、国が設けた水質管理目標設定項目は、消毒方法の関係で検査の必要のない1項目及び他の検査で代用できる2項目を除き24項目を検査しました。その結果、今年も水道水の安全性に関する項目全てで目標を達成していました。

検査体制と水源保全 水源から蛇口まで 取組

最新機器で一貫検査

針木浄水場にある水質管理センターでは、熟練した職員が最新の理化学機器を使い、全ての水質検査項目について一貫した検査をおこなっています。日々の水道水質を管理・監視はもちろん、水源である河川上流域でも採水をおこない、水源水質に汚染がないかを確認し、経年的な動向の把握にも努めています。

水源山林を取得保全

将来にわたり、良質で豊富な原水を確保するため、水源地域の森林を「みどりのダム」として捉え、保水力の優れた自然林などを取得・保全しています。現在までに取得した「水源かん養林」は鏡川と仁淀川水系で約220ヘクタールとなっています。



水質基準項目等検査地点名

- 1 針木浄水場系鏡川第2取水所前
- 2 針木浄水場系仁淀川取水所前
- 3 針木浄水場系仁淀川原水
- 4 針木浄水場系着水弁
- 5 針木浄水場系給水栓(瀬戸東町3丁目)
- 6 針木浄水場系給水栓(介良丙)
- 7 針木浄水場系給水栓(一宮西町1丁目)
- 8 針木浄水場系給水栓(池)
- 9 旭浄水場系鏡川第1取水所前
- 10 旭浄水場系着水弁(伏流水)
- 11 旭浄水場系配水池
- 12 旭浄水場系給水栓(宝町)
- 13 本宮町水源
- 13 本宮町水源滅菌室
- 14 布師田水源
- 14 布師田水源滅菌室
- 15 春野弘岡上水源
- 16 春野弘岡上水源系給水栓(芳原)
- 17 春野森山水源
- 18 春野森山水源系給水栓(内の谷)
- 19 領家簡易水道原水
- 20 領家簡易水道給水栓
- 21 行川吉井簡易水道水源
- 22 行川吉井簡易水道給水栓
- 23 宗安寺簡易水道水源
- 24 宗安寺簡易水道給水栓
- 25 朝倉米田簡易水道水源
- 26 朝倉米田簡易水道給水栓
- 27 土佐山平石地区簡易水道
- 28 土佐山平石地区簡易水道給水栓
- 29 土佐山弘瀬地区簡易水道
- 30 土佐山弘瀬地区簡易水道給水栓
- 31 鏡小浜簡易水道
- 32 鏡小浜簡易水道給水栓
- 33 鏡川上流域土佐山多金剛橋
- 34 鏡川上流域土佐山弘瀬
- 35 鏡川上流域鏡川口橋
- 36 鏡川上流域鏡川口橋

水質に関するお問い合わせは 浄水課水質管理センター 電話843-8634
詳しい水質検査結果については、水道局のホームページ <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/111/top.html>

NEWS CLIP ニュースクリップ

東日本大震災 仙台市で応援給水を実施

全国の市町村水道等で組織する社団法人日本水道協会からの要請を受け、高知市水道局では、仙台市



水道水の放射性物質の測定結果について

平成23年3月18日以降、水道水中の放射性物質(ヨウ素-131、セシウム-137)について、文部科学省が各都道

で応援給水活動を10日間おこないました。3月15日早朝に4トントラックで職員3名が出発しましたが、原発事故や交通事情により派遣先に到着したのは17日の夜となり、活動は18日からとなりました。現地での活動は、給水拠点でトラックに搭載した2立方メートルのタンクに給水し、指定された給水地点にピストン輸送するというもので、病院や特別養護老人ホーム、避難所となった小学校や新興住宅地に給水をおこないました。24日の交代も含め派遣職員6名は、南海地震に備え、更なる対策の必要性を強く感じ、「この経験を今後の職務に生かしたい」と語っています。

水道週間(6月1日~7日)行事

6月5日に中央公園で恒例の「水のふるさとフェスティバル」を開催しました。仁淀川町の玄蕃太鼓や堀内佳コンサート、ミニSL体験乗車や利き水クイズなどのイベント、田舎寿司や山菜天ぷらなどがならぶ水源流域の物産店は、雨天にもかかわらず親子連れなどで賑わいました。



府県に委託し毎日測定を行っています。その結果、高知市の水道水からは放射性物質は検出されていません。

測定結果は高知県のホームページ <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/kuukansenryo.html>